

第68期定時株主総会（開会）

2018年 6月 26日
日本アビオニクス株式会社



議決権保有株主様	2,947名
----------	--------

議決権数	28,157個
------	---------

基準日	2018年3月31日
-----	------------

**お手元の招集ご通知
「28～29ページ」を
ご覧ください。**

事業報告等

1. 第68期(2017年4月1日～2018年3月31日)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第68期(2017年4月1日～2018年3月31日)計算書類内容報告の件

経済環境

- ↑ 収益・雇用等の改善
- ↑ 設備投資も堅調
- ↓ 地政学リスク
- ↑ 欧米・中国が持ち直し

事業環境

- (宇宙・防衛市場)
- ↓ 国内調達の減少
- (民需市場)
- ↑ 双楯部品向け設備が堅調

OKIグループへの移管は予定通り推移

連結業績サマリ

(単位：億円)

	第67期 (2017年3月期)	第68期 (2018年3月期)	増 減
売 上 高	214.4	187.1	△27.3
営 業 利 益	0.2	△ 7.1	△ 7.3
経 常 利 益	△ 0.6	△ 7.6	△ 7.0
特 別 利 益	36.9	16.0	△ 21.0
特 別 損 失	17.8	2.3	△ 15.4
当 期 純 利 益	15.1	6.1	△ 9.0
フリーキャッシュフロー-(FCF)	36.2	△18.6	△54.8

Ⅰ 退職金年金制度の現状

- 退職金＋確定給付型年金
＝ 最終給与×勤続別乗率＋定年加算金

Ⅰ 従来制度の課題

- 未積立額が金融環境で変動し、P/Lにインパクト有り
- 中途採用に不利（長期勤続有利・DC年金未導入）

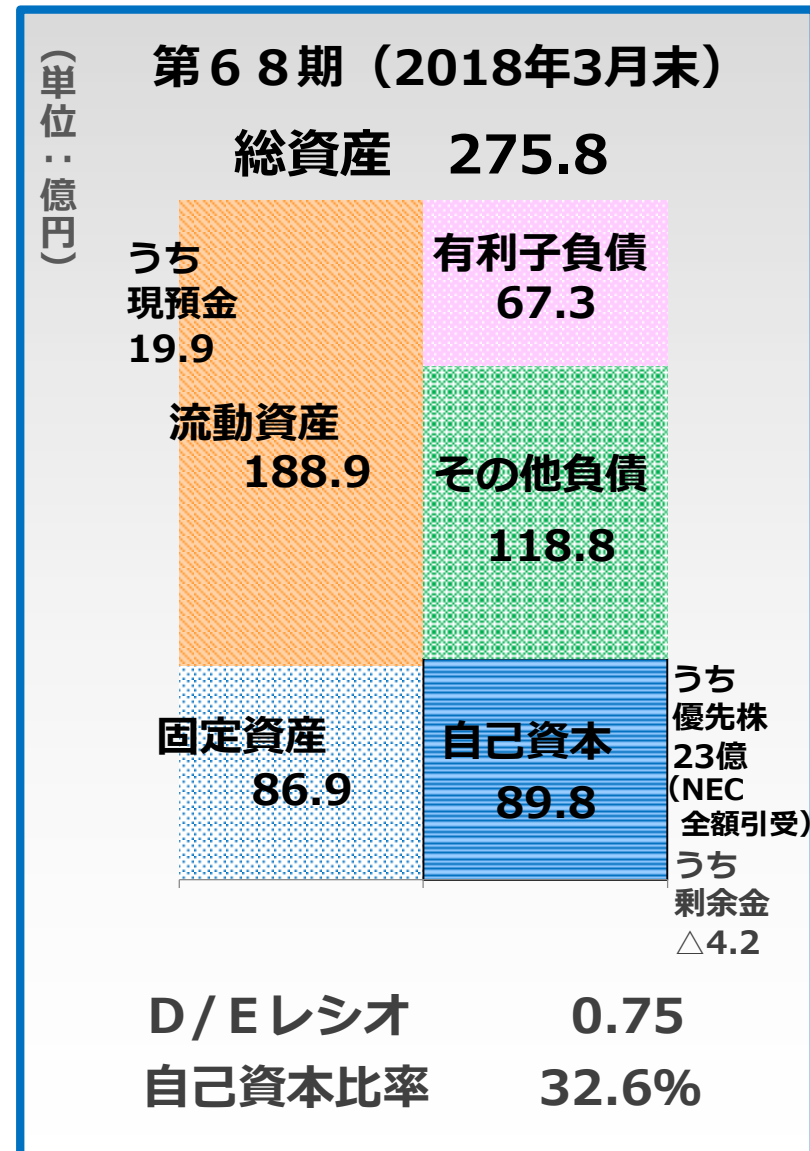
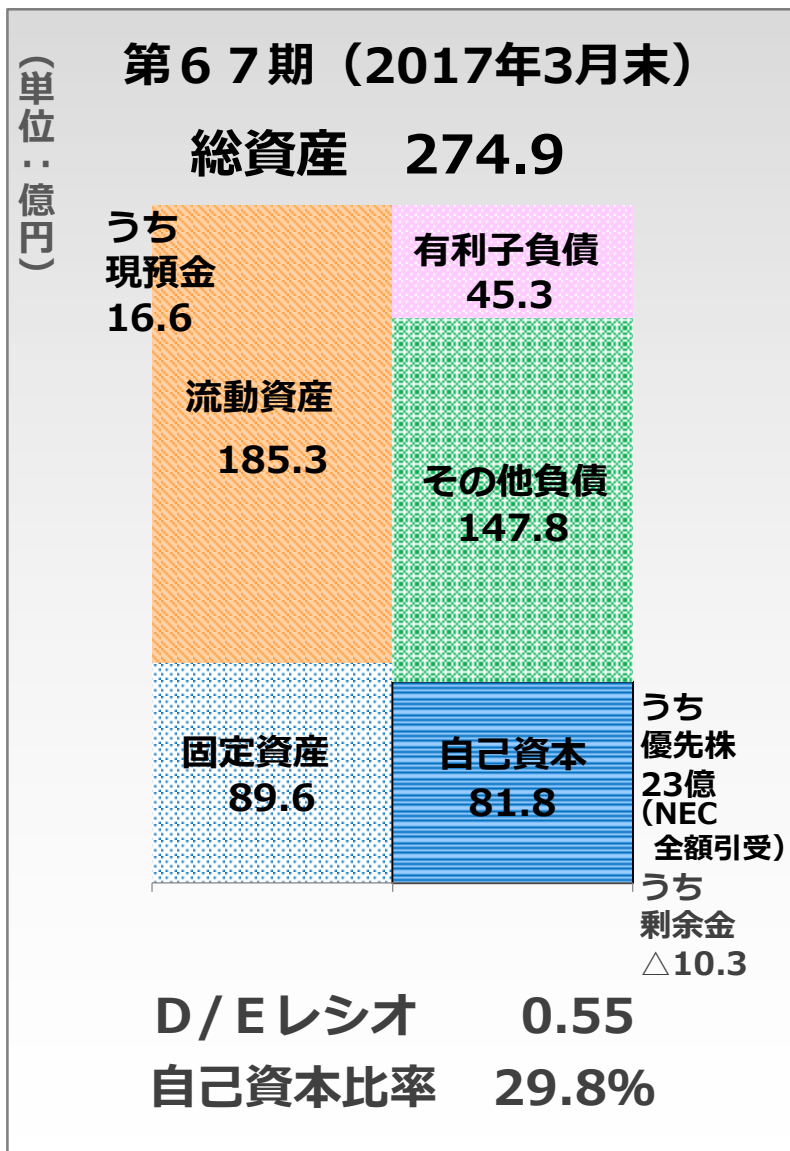


Ⅰ 2018年1月

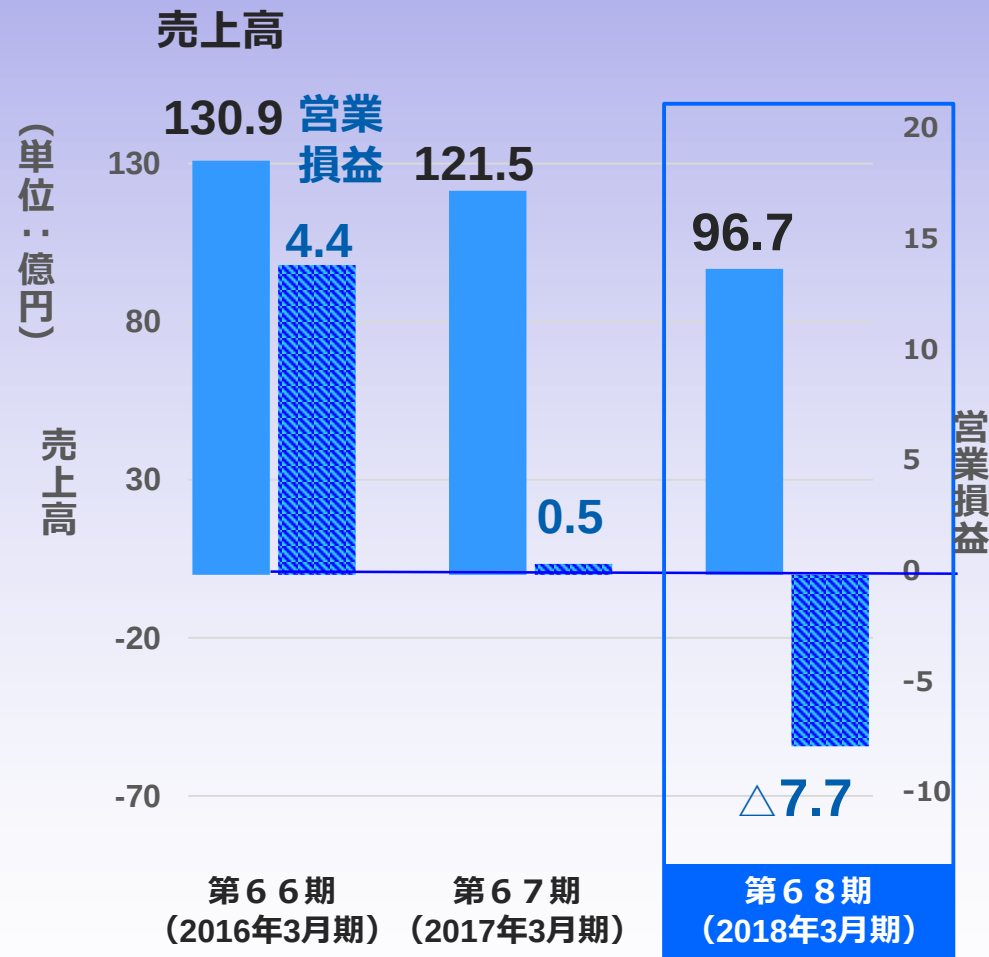
以下を目的として退職一時金部分にDC年金を導入

- ・ 従業員のライフプランや就業意識の多様化に対応
- ・ 長期的・安定的に運営できる退職給付制度の実現

連結貸借対照表



**当期純利益を計上致しましたが
なお累積損失が存在することから
まことに遺憾ながら
無配とさせていただきたく存じます**



売上高

- ・ 防衛省の海外調達の水準が高く、国内調達は低調に推移
- ・ 部品の逼迫による翌年度へのずれも発生

営業損益

- ・ 売上高減少により粗利減少
- ・ 売上高減少による操業低下
- ・ 一部の不採算プロジェクトによる原価悪化の発生

情報システム トピックス

艦艇搭載情報表示装置近代化改修の契約受注

これまで艦艇退役まで使用されていた表示装置を、最適な全体運用ができるよう性能向上を提案。

【各種表示装置】

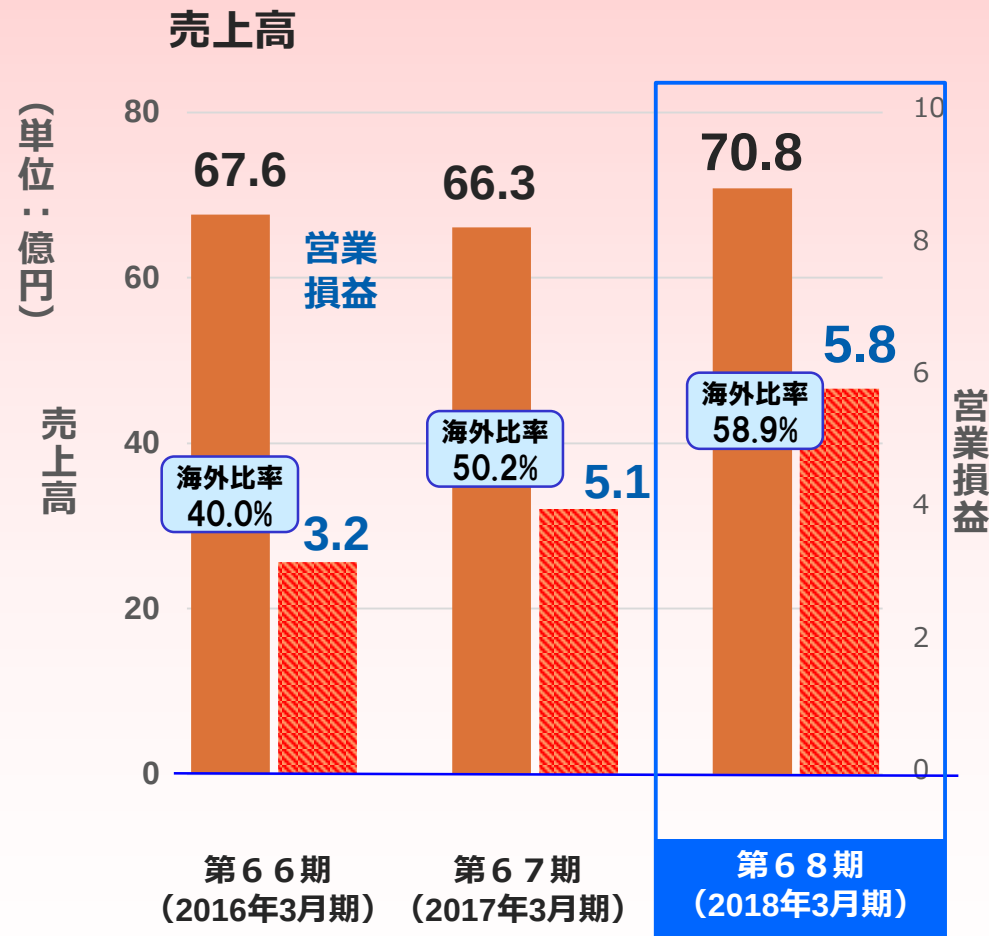


イプシロンロケット3号機打ち上げに貢献

人工知能を使った当社の自動自律点検システム（ROSE）は、打ち上げ前の点検自動化による射場整備期間の短縮に貢献。



運用貢献における
感謝状を授与



売上高

接合機器

- ・スマートフォン等の部品の小型化
向け製造装置の需要増
- ・アジア地域を中心に輸出増加

赤外線サーモグラフィ

- ・脱着型サーモグラフィ等の差別化
製品を投入

営業損益

- ・売上増加により営業利益増加

接合機器 トピックス

自動車部品市場の攻略

電動化、自動化により変化する部品の接合に顧客価値提案

① 内装樹脂部品

◇ 自動機搭載型超音波発振機 SW-D900S-39 業界最速樹脂かしめ



ドアトリム
かしめ

② 車載ハーネス

◇ 超音波メタルウエルダ SW-3500-20 国内最大径のハーネス接合

◇ 抵抗溶接機 NRW-IN16K4 品質向上（良品率UP）



ハーネスコンパクト化接合



アルミハーネス・銅端子接合

③ 車載モータ

◇ 抵抗溶接機 NRW-IN400P 品質向上（良品率UP）



ヒュージング接合

赤外線サーモグラフィ トピックス

Ⅰ 差別化製品投入による顧客価値創造へ

① 測れなかったところが測れる！

◇カメラヘッド脱着型サーモ F50シリーズ

“オンリーワンサーモ”



② “見る”から“検査”へ！

◇高解像度固定設置サーモ TS600

※新日鐵住金(株)殿より「機材調達部パートナー表彰 銀賞」受賞

“ネットワーク型固定設置サーモ”



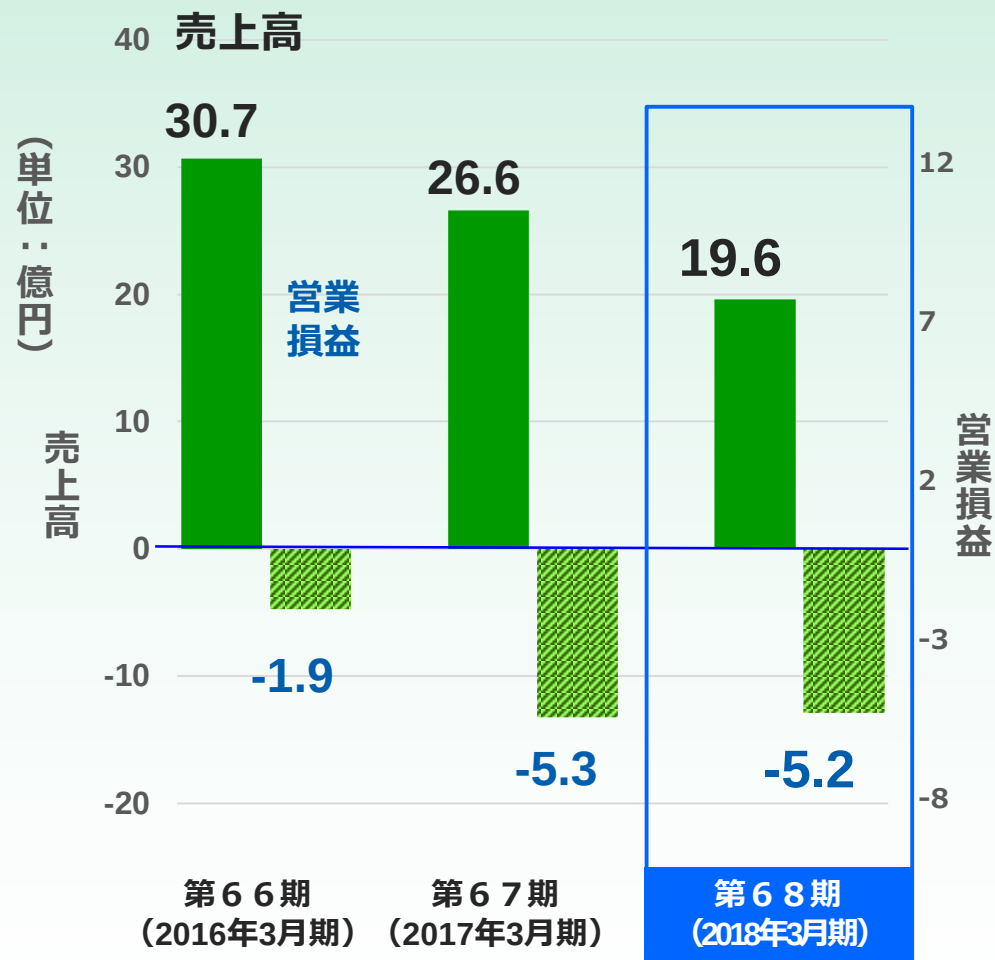
③ “見る”から“予兆監視”へ！

◇金属温度計測サーモ TS300SW

“アルミ表面の温度計測”



セグメント プリント配線板



- ・ 事業移管が進捗し生産規模縮小
- ・ 稼働の平準化、生産性向上により
利益は前期比改善（計画比大幅改善）

① O K Iグループへの事業移管は計画通り進捗

- 計測半導体・産業用プリント配線板（17年3月末完了）
- 宇宙・防衛向けプリント配線板（18年3月末完了）
 - ➡ J A X A 等認定完了
 - ➡ 技術移転も完了

② 山梨アビオニクスオペレーション終了

- 2月内層投入終了、3月検査終了
- 18年度1Qの出荷/検収で営業活動完了予定

➡ 18年3月末をもって工場閉鎖

③ 山梨アビオニクスの建屋解体・更地化

- J R 東海へ譲渡（19年3月末までの完了を目指す）

対処すべき課題

1. 2019年3月期通期業績予想
2. 中期経営計画の進捗状況

“顧客価値経営の推進”

ニッチな領域での競争力強化・差別化を推進
2つのセグメントで成長を目指す

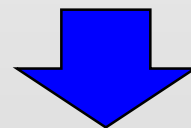
情報システム (防衛・宇宙)

- ・ 社会の安心安全に貢献
- ・ リアルタイム処理、
耐環境の実績・ノウハウ
- ・ 全社の技術基盤

電子機器 (接合・赤外線)

- ・ 接合4工法を活かした
「つける」顧客価値
- ・ 「見えないものを見せる」
顧客価値

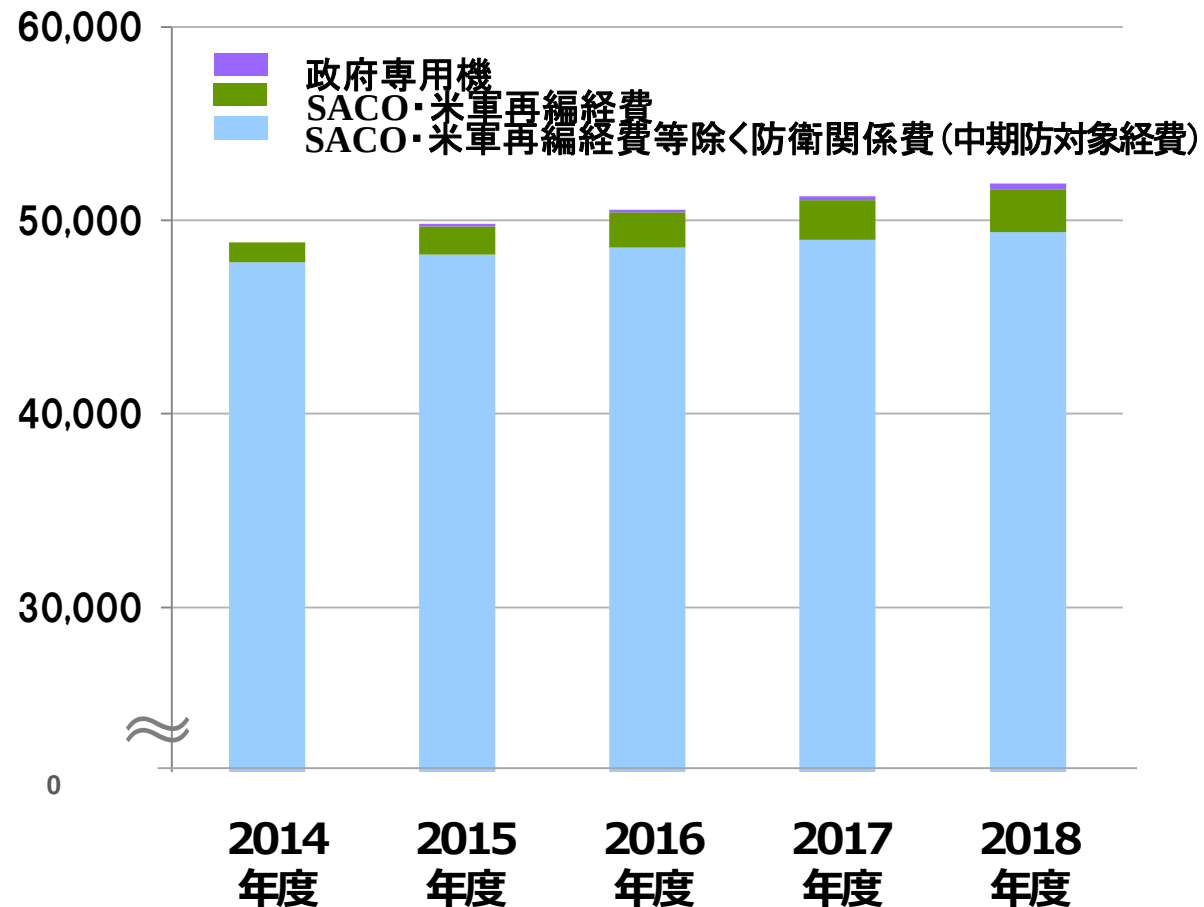
- ① コンプライアンス（法令遵守）の徹底
- ② 受注・売上の拡大
- ③ 収益性の改善
- ④ Q C Dの継続的な改善
- ⑤ 資産効率の向上によるキャッシュ・フローの改善



復配への足固め

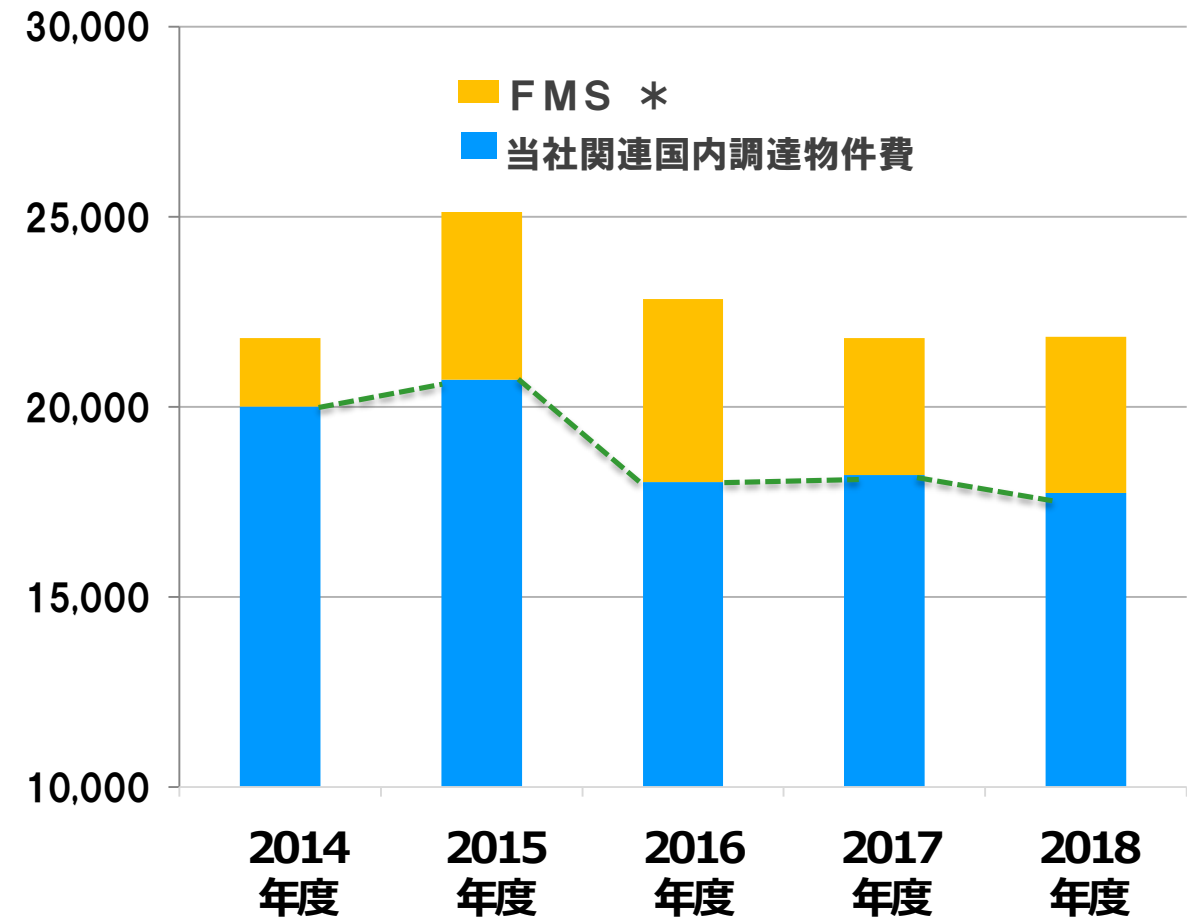
防衛関係費の推移※1

(単位：億円)



防衛予算の物件費の動向※2

(単位：億円)



※1：財務省 財政制度分科会(平成30年4月6日開催)資料より一部抜粋 (財務省HP https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/zaiseia300406/03.pdf)

※2：防衛省「我が国の防衛と予算」防衛関係費データから当社独自試算 (防衛省HP <http://www.mod.go.jp/j/yosan/2018/yosan.pdf>)

2019年3月期 連結業績予想サマリ

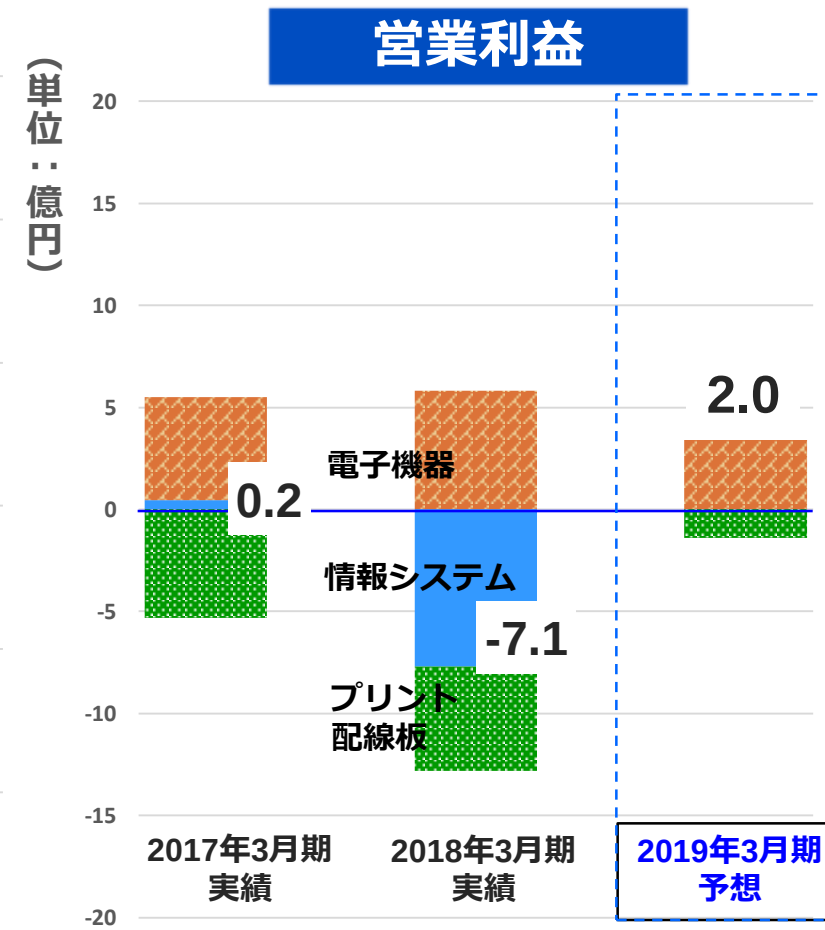
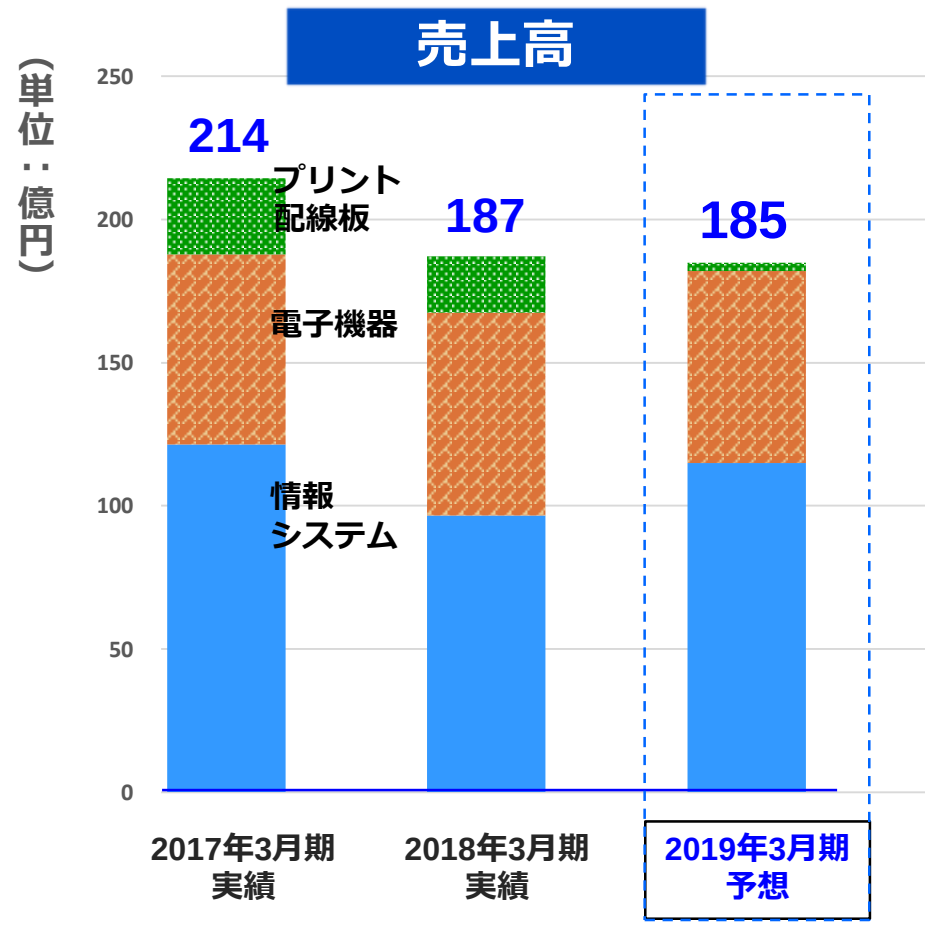
(単位：億円)

	第68期 (2018年3月期) 実績	第69期 (2019年3月期) 通期予想	増 減
売上高	187.1	185.0	△ 2.1
営業利益	△7.1	2.0	9.1
経常利益	△7.6	1.5	9.1
当期純利益	6.1	0.0 [*]	△ 6.1

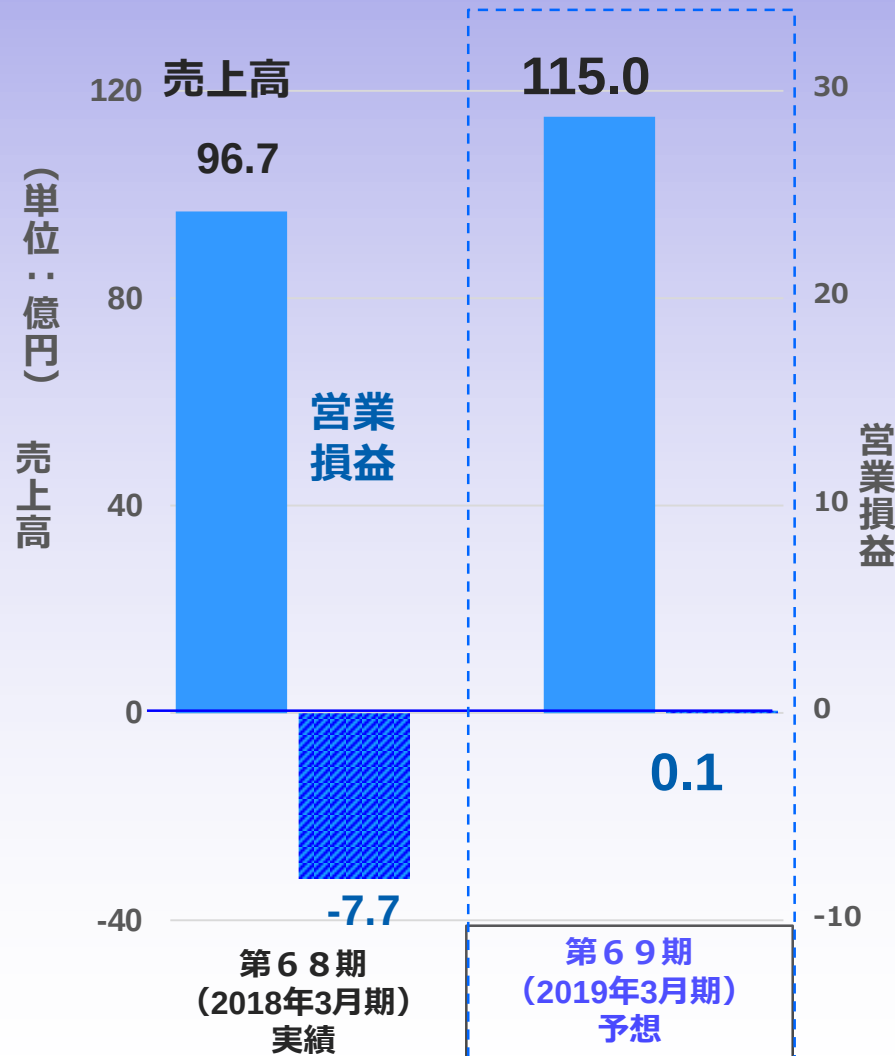
* JR東海からの第3回目の補償金受領時期は未定のため予想には含めていない

2019年3月期 業績予想 セグメント別

- 継続2セグメントで事業を遂行
- 情報システムの増収増益で計画達成を目指す

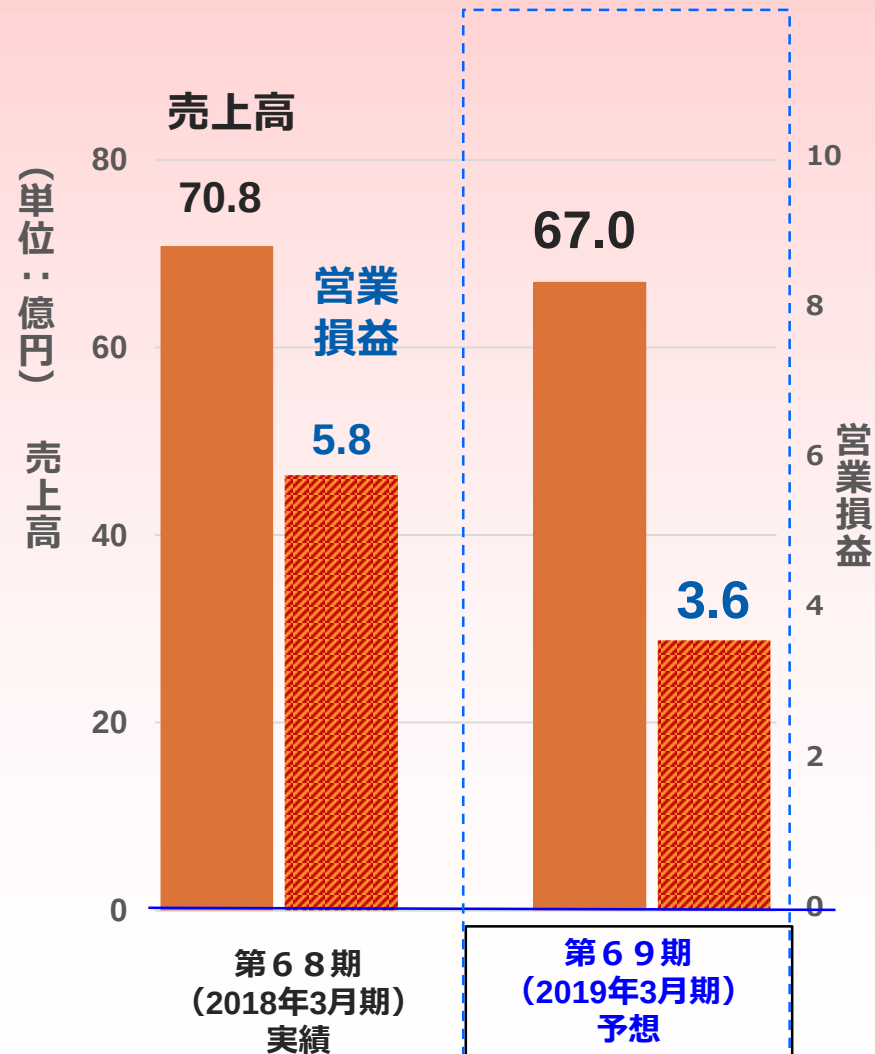


2019年3月期 業績予想 情報システム



- 受注残高の増加を背景に確実に契約を履行し増収を目指す
期首前期比 +16.2億円
- 売上高増加による粗利改善
- 売上高増加による操業改善
- 不採算プロジェクトの発生を抑制

2019年3月期 業績予想 電子機器



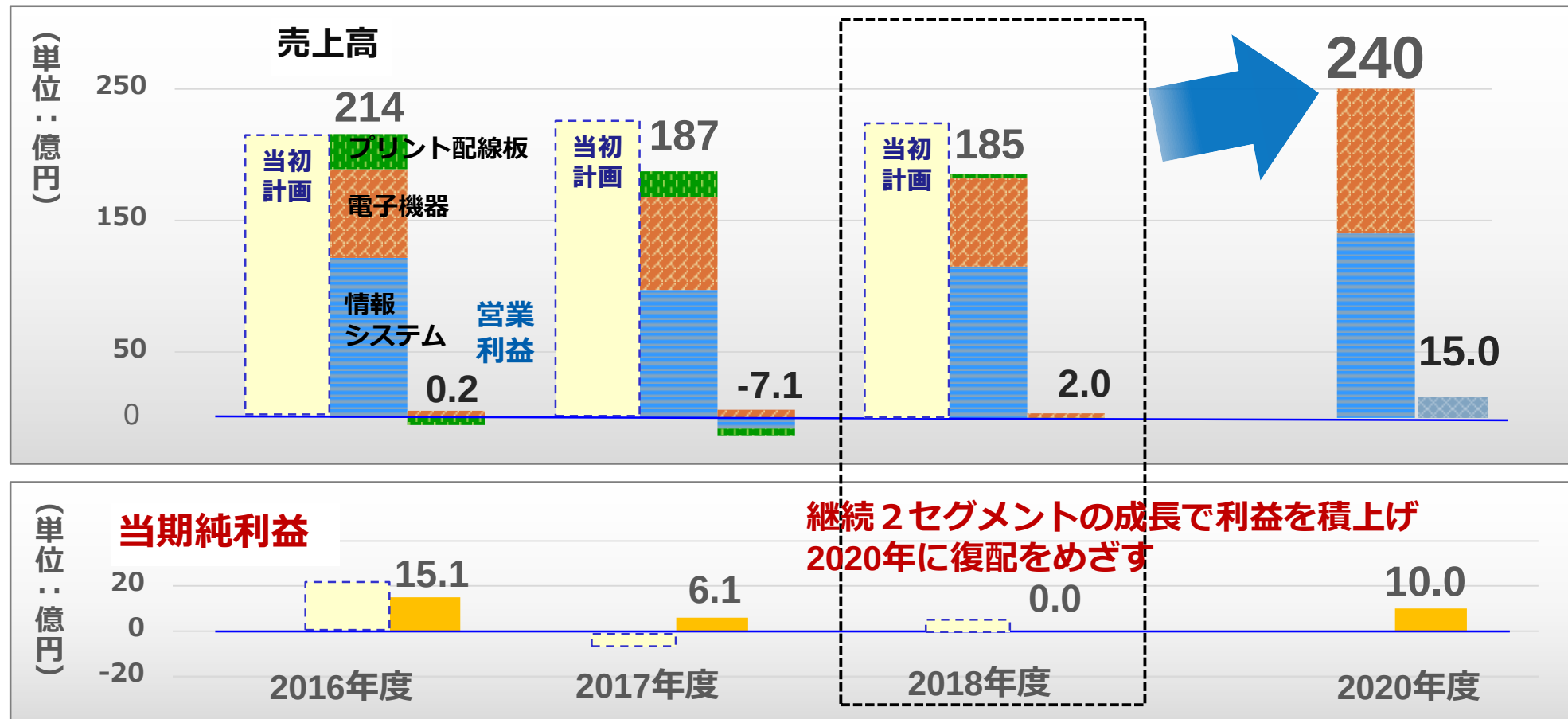
- スマートフォン等の部品の小型化向け製造装置の投資一巡により減収見込み
- 商品力×営業力強化により顧客価値提案力を強化
- 新製品投入、成長のための開発投資を計画

中期経営計画進捗状況

■ 1年目の2016年度
売上高、営業利益
は計画値確保

■ 2年目の2017年度
売上高未達、当期
純利益は計画値過達

■ 2018年度は減収となるもの
の営業黒字を確保。
2020年目標達成を目指す



* 当初計画は2016年11月公表の中期経営計画

事業体質強化4つの施策

顧客価値 提案力の強化

- ▶ 顧客に対する理解の深耕
- ▶ コンサル営業・提案型営業への転換
- ▶ コアビジネスをベースにした領域の拡大

技術基盤の 再構築

- ▶ ソリューション開発基盤の構築
- ▶ 戦略領域の技術・スキルの獲得、強化
- ▶ 新たな技術革新・イノベーションの対応

Q C Dの 抜本的な改善

- ▶ 品質のアビオへの回帰（Q）
- ▶ コスト競争力の強化（C）
- ▶ 納期遵守率の向上（D）

制度/仕組の改革 業務プロセス改革

- ▶ I T基盤の強化による生産性の向上
- ▶ 仕組みの近代化、働き方改革
- ▶ オペレーショナル・エクセレンスの実現

－ 創立60周年となる2020年に向けて －

次のステージへ

Challenge For The Future

ステークホルダーの価値拡大

独自のエレクトロニクス技術と
システム技術により、
お客様のために新しい価値を創造し、
安全で豊かな社会の実現に貢献します。

安心・安全への貢献の拡大

- ・ 顧客の安心・安全
- ・ 株主の安心・安全
- ・ 従業員の安心・安全
- ・ 社会の安心・安全

**以上をもちまして
報告事項のご説明を
終わらせていただきます**

質疑応答

ご質問のある方は挙手をお願いします

**議長がご指名申しあげますので
入場票の番号とお名前をおっしゃってから
要点を簡潔にご発言願います**

1号議案 資本準備金および利益準備金の 額の減少ならびに剰余金の処分の件

理由

- ・ 2018年3月末個別決算で欠損金が△21億円
- ・ 欠損の填補および財務戦略上の柔軟性かつ機動性を確保

資本勘定内振替の内容

→ 繰越利益剰余金の改善 **+ 8.3億**

- | | | |
|---------|-----------|------|
| ・ 資本準備金 | → 繰越利益剰余金 | 7.5億 |
| ・ 利益準備金 | → 繰越利益剰余金 | 0.8億 |

効力発生日 2018年6月27日

山梨アビオニクス（100%子会社）の吸収合併

ロプリント配線板事業の事業移管が進捗し、2018年3月末をもって山梨アビオニクスは工場閉鎖、建物の取り壊し等の準備開始

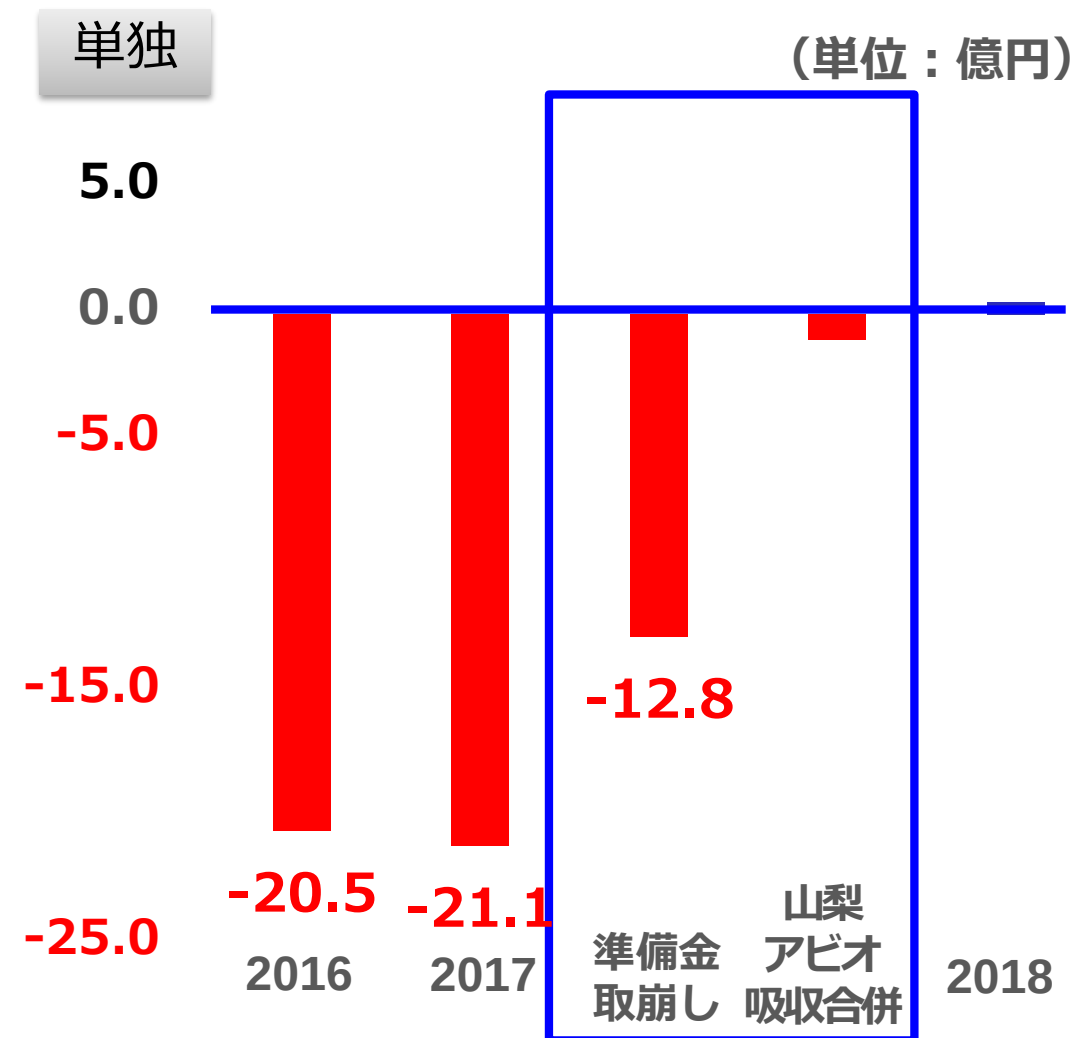
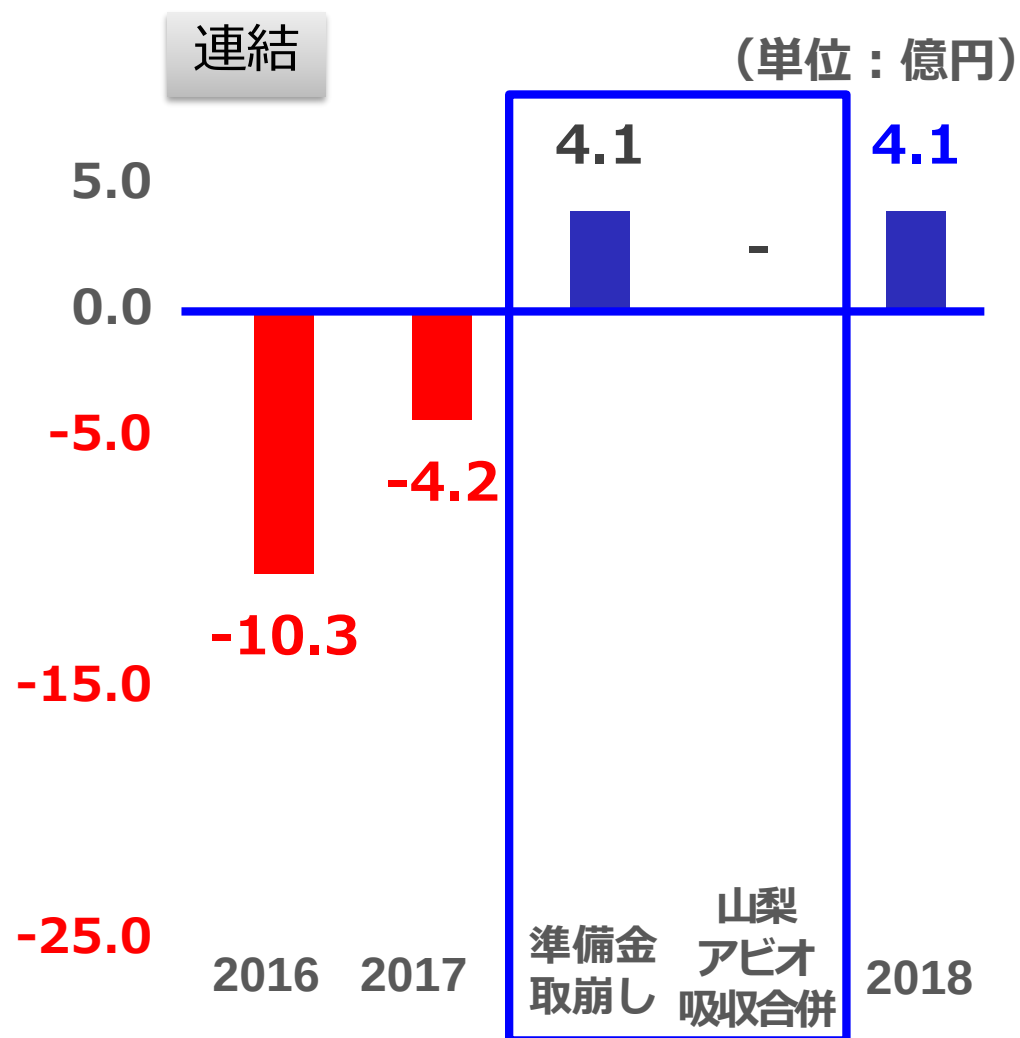
ロ山梨アビオニクスの剰余金を日本アビオニクス（単独）に取り込む

効力発生日

2018年10月1日（予定）



(参考) 剰余金はプラスに転じる見込み



* JR東海からの第3回目の補償金受領時期は未定のため2018年予想には含めていない

1号議案 資本準備金および利益準備金の 額の減少ならびに剰余金の処分の件

理由

- ・ 2018年3月末個別決算で欠損金が△21億円
- ・ 欠損の填補および財務戦略上の柔軟性かつ機動性を確保

資本勘定内振替の内容

→ 繰越利益剰余金の改善 **+ 8.3億**

- | | | |
|---------|-----------|------|
| ・ 資本準備金 | → 繰越利益剰余金 | 7.5億 |
| ・ 利益準備金 | → 繰越利益剰余金 | 0.8億 |

効力発生日 2018年6月27日

2号議案 取締役7名選任の件

取締役候補者

再任 秋 津 勝 彦

再任 延 岡 健太郎

社外

再任 上 田 勇

再任 望 月 愛 子

社外

新任 竹 内 正 人

再任 伊 藤 茂 樹

新任 大久保 智 史

第68期定時株主総会（閉会）

2018年 6月 26日
日本アビオニクス株式会社



新任役員のご紹介

新任取締役 竹 内 正 人

新任取締役 大久保 智 史

**本日はご多忙のところご出席賜り
また議事進行に格別のご協力をいただき
誠にありがとうございました。**



Avio

www.avio.co.jp